

「衣類」の資源循環・サーキュラーエコノミー実証等

～使用済ユニフォームや衣類の回収、再製品化を「ミライのフツー」に～（愛知県豊田市）



- 使用済みユニフォームの再生化、地域内福祉事業所の活用（雇用や労働機会の拡充）実証
- ② 衣類回収・資源循環に関する理解促進・普及啓発のためのイベント・セミナーの実施
 - 「衣類は、廃棄物ではなく、価値ある資源のひとつ」と考え方を変える機会の提供
- 当実証で得た知見・課題を活かし、当市の豊田市つながる社会推進実証協議会の枠組や様々なネットワークとの協働で広域での実装化に向けた検証を継続（予定）

事業の全体像

- 事業者から排出されたユニフォームを市内の就労支援B型事業所が回収・分別・リサイクル工場への発送。リサイクルで再製品化。
- 一般衣類をイベントで回収。衣類を原料に再製したノベルティ配布、「資源循環やリサイクル」に関するセミナーで3Rへの意識醸成を図る

ユニフォームリサイクルの取組

豊田市は、企業が使用する事業用ユニフォームのリサイクルについて、理解促進、課題把握、行動変容を目的に「BRING UNIFORM」の仕組みを展開する(株)JEPLANとともにリサイクル実証に取り組んでいます。



取組の様子



事業者ユニフォームの回収の様子



SDG s フェスタの衣服回収ブース

取組の成果

回収・リサイクル対象となった衣服

事業者ユニフォーム： 684枚 363kg 参加事業者数：4社
家庭用衣類： 1,751枚 348kg

普及・啓発イベント（オンラインセミナー）

来場者 / 聴講者 (2,184+300+7,652) + 29 = 10,136人

当該実証やイベント等に参加した人達の多くは、「衣類の循環の仕組みや取組を知らない」一方「仕組みがあれば活用したい」と意欲は高い。ユニフォームリサイクルは、ビジネスでの有益性をPRして推進していくことが有効だが廃棄物との差別化が課題。